

総会で See You 久しぶり

4月15日(土)

PM6:00~8:00



恩師と語ろう

あの日 あの時 あの事

柳本	岩崎	西川	多田	田中	山手	藤丸	八木	服部	藤倉	矢谷	日高	辻本	総会・懇親会に出席予定の先生方
朋子先生	真季先生	理嘉先生	和彦先生	健文先生	隆文先生	一郎先生	義仁先生	敬一先生	憲一先生	健一先生	敬造先生	茂先生	
(数学・平成28年)	(図工・平成13年)	(音楽・平成12年)	(体育・平成10年)	(音楽・平成9年)	(体育・平成4年)	(図工・平成4年)	(国語・平成2年)	(道徳・昭和60年)	(理科・昭和53年)	(算数・昭和50年)	(算数・昭和42年)	(理科・昭和30年)	
現職校長	現職校長	現職校長	現職校長	現職副校長	現職副校長	現職副校長	現職副校長	現職副校長	現職副校長	現職副校長	現職副校長	現職副校長	

※他に現職の先生方も数名出席されます

雛松

第48号



平成29年3月10日

雛松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

第36回雛松会総会

★平成21年までに卒業の方

日時 平成29年4月15日(土)

PM6:00~8:00 (PM5:30~受付)

場所 大阪マリオット都ホテル 「茜」

(あべのハルカス 20階)

懇親会

〒542-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 TEL 06-6628-6100

■JR天王寺駅・地下鉄天王寺駅・近鉄大阪阿倍野橋駅直結

奮って
ご参加を



内容 ◎議事(挨拶ほか) ◎乾杯 ◎懇親 ◎アトラクション

会費 7,000円(平成11年までに卒業の方)、3,000円(平成12年~平成21年に卒業の方)

※同封の出欠返信はがきで4月5日までにご返信ください。

お問い合わせやご出欠の返信は雛松会ホームページ上でも受付けております。

<http://www.hinamatsu.com/>

雛松ジュニア会

★平成22年卒~平成29年卒の人

日時 平成29年3月28日(火)

AM10:00~12:00

場所 母校(附属天王寺小学校)

内容

◎議事

◎アトラクション

◎年次毎の同窓会

恩師や友人とのなつかしいお話、運動場でのスポーツ、楽しいお店も開きます。

<主な記事>

- ◆総会報告・ジュニア会のご案内……………1面
- ◆名誉会長・会長挨拶……………2面
- ◆附小NOW・復活(?)耐寒遠足……………3面
- ◆転出された先生方……………4面
- ◆同期会フラッシュ……………5面
- ◆恩師からのメッセージ……………6面
- ◆級友からの近況報告・同窓生の活躍……………7面
- ◆年会費納入者一覧……………8面

第36回総会でお会いしましょう。



「チーム附属天王寺小学校」をめざして

雑松会名誉会長
大阪教育大学
附属天王寺小学校校長
柳本 朋子

平成28年4月に附属天王寺小学校長に就任いたしました柳本朋子です。卒業生の本校の教育活動に対して、多大な支援とご協力を賜っております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。今年度まで幹事会が2回開かれました。2回目の会合では最近の学校の様子を映像で観いただきました。昔変わらぬ受け継がれている行事や生き生き活動する児童の様子をご覧になった幹事の皆様

お声からは母校愛がひしひしと伝わってまいりました。また、それと同時に雑松会の皆様が長い歴史の中でいつも本校を見守り支えてきたことに感謝を受け、このままに伝統のある附属天王寺小学校の責任者としての命を受けたことに身の引き締まる思いがいたしました。未熟ではありますが、本校のさまざまな難題のために、手を貸していただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年11月には西川雅夫会長のものへ伺いし、1時間間があったという間に感じるほどの楽しいお話を拝聴いたしました。小学校の選定では山の麓から皆でササキを道って捕まえたこと、教科書の内容や時間配分を気にせず、先生方の個性的な自由な話題の授業が沢山あったことなど、そして、そのような小学生時代の学びに向かう態度・思考習慣がその後の人生に大きな影響を与えたということをお聞きしました。また、そのと

きに西川会長からいただいた「なんでもねん」の本は私のお気に入りとなりました。私は数学教育が専門ですが、算数・数学の学びにおいて「なぜそうなるのか」を考へることは大切で、意味も分からず計算の仕方を見ただけで進んでいく価値がありません。なぜなら今は方程式も微分・積分ですらコンピュータであっという間に計算してしまっただけだからです。これからは人間だからこそできること、その仕組みを考へ

た新しい問いを立てて解決に向かっている活動こそが重視される。西川会長との話の中で、様々な事象に対して「なんでもねん」と自然に考へることが出来る児童を育てることをこれからも本校で大切にしていきたいと思っております。

ところで、現在、国立天学附属学校は全国的に厳しい状況に置かれています。平成27年12月に中央教育審議会から、教員の資質能力の向上、チームとしての学校の在り方、新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方、のそれぞれに関する答申がなされました。そこでは、国立の教員養成系大学・学部がその実現に向けてリードしていくことが求められています。

そのための附属学校は単に教育実習を受け入れるというだけでなく、大学との連携を密にして教員養成や実践教育、教育の研究・実践を共にすすめて、地域社会に貢献することがより強く求められるようになっています。また一方で、学校現場の問題として注目されている教員の長時間労働についても、附属学校がモデルとなって業務の精選・重点化を図りスリム化を進めることが求められています。

このように、附属学校の存在意義があらためて問われる中で、本校がためて問われているのが進むべき道を考へていかなければいけません。ちょうど今年11月1日に創立40周年記念式典・祝賀会を行います。これを機に、平成29年度は雑松会をはじめ本校につながる様々な方のお力添えを賜りたいと考えております。心より感謝申し上げます。心より、今後とも本校の温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



個性豊かな人づくりをモットーに

雑松会会長
80期昭和36年卒
西川 雅夫

傾向にあるように思われます。中国をはじめとする購買力も、段階し、百貨店の業績もはかばかしくはなっていないが、確実に安定的な成長路線を歩んでいるかのようには見えます。特に、不動産におきましては、2000年の東京コンプレックに向かつての上昇気流にあり、それに伴う景気の上昇は見られる予想されます。自動車産業におきま

して、国内生産台数は減ったものの、海外での生産および販売が大変好調で、経常収支としては過去最高の利益をあげております。日本は今や、自由主義経済圏において世界第2位の経済国であり、今後ハイテク・ロボット、省エネルギー、環境問題などにおいては、その技術力を世界にアピールしていく能力がふたんにあると確信致します。更に、オリンピックに向か

た日本の長さをアピールできるチャンスを得ており、今回ユニスコ無形文化遺産に認定された日本の祭り、使う山、鯉、屋台などはもとより、和食の文化、おもてなしの文化など、日本人本来の長さを、瑞穂の国日本が世界の人人々に認められ始めることは、本当に素晴らしいことであり、これからの日本経済もまた、このように、安心、安全、清潔、さらには勤勉、几帳面、時間厳守などが、大いに世界に伝えられるものだと思います。そういう意味からいいます。そういう意味からいいます。そういう意味からいいます。

本年も個性豊かな人づくりをモットーに附属の良さが十分活かされた人材が一人でも多く生まれることを祈念申し上げますと共に、雑松会の皆様のご活躍にご健勝を心期し申し上げます。当会をますますの発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

雑松会も本年で創立136年を迎えます。今日に至るまで、460名を超える卒業生を送り出し、現在約6,000名の方がご健在に活躍されています。これからも、歴史と伝統に培われた気風、個性豊かな活動力、時代を生きていくコミュニケーション力を携えた雑松会一団様が更に結束を固め、世界に向けてグローバルに、次世代に渡り永く活躍され

ますことを期待申し上げます。昨年、熊本地震により九州の情勢もアメリカ大統領のトランプ氏の勝利によるTPP問題の見直し、韓国のバク・クネ大統領の辞任問題など、天地共に揺るがすような出来事が年々かかっています。日本は、安倍政権の順調な成長戦略と共に、目立ってはいませんが、着実に回復

して、国内生産台数は減ったものの、海外での生産および販売が大変好調で、経常収支としては過去最高の利益をあげております。日本は今や、自由主義経済圏において世界第2位の経済国であり、今後ハイテク・ロボット、省エネルギー、環境問題などにおいては、その技術力を世界にアピールしていく能力がふたんにあると確信致します。更に、オリンピックに向か

た日本の長さをアピールできるチャンスを得ており、今回ユニスコ無形文化遺産に認定された日本の祭り、使う山、鯉、屋台などはもとより、和食の文化、おもてなしの文化など、日本人本来の長さを、瑞穂の国日本が世界の人人々に認められ始めることは、本当に素晴らしいことであり、これからの日本経済もまた、このように、安心、安全、清潔、さらには勤勉、几帳面、時間厳守などが、大いに世界に伝えられるものだと思います。そういう意味からいいます。そういう意味からいいます。そういう意味からいいます。

本年も個性豊かな人づくりをモットーに附属の良さが十分活かされた人材が一人でも多く生まれることを祈念申し上げますと共に、雑松会の皆様のご活躍にご健勝を心期し申し上げます。当会をますますの発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年も個性豊かな人づくりをモットーに附属の良さが十分活かされた人材が一人でも多く生まれることを祈念申し上げますと共に、雑松会の皆様のご活躍にご健勝を心期し申し上げます。当会をますますの発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年も個性豊かな人づくりをモットーに附属の良さが十分活かされた人材が一人でも多く生まれることを祈念申し上げますと共に、雑松会の皆様のご活躍にご健勝を心期し申し上げます。当会をますますの発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年も個性豊かな人づくりをモットーに附属の良さが十分活かされた人材が一人でも多く生まれることを祈念申し上げますと共に、雑松会の皆様のご活躍にご健勝を心期し申し上げます。当会をますますの発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年も個性豊かな人づくりをモットーに附属の良さが十分活かされた人材が一人でも多く生まれることを祈念申し上げますと共に、雑松会の皆様のご活躍にご健勝を心期し申し上げます。当会をますますの発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

「ペンケース」



雑松会では、毎年卒業生に記念品を贈呈しますが、本年度136期卒業生には、写真の「ペンケース」を贈ることになり、卒業式当日に、卒業生全員に渡されます。

136期卒業生記念品

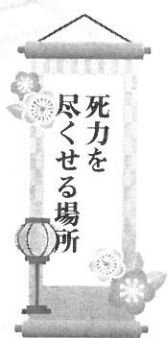
この1年間に次の2名の恩師の先生方がお亡くなりになりました。懐念してお悔やみ申し上げますとともに、心から冥福をお祈り致します。

白木 實先生 (理科)
昭和16年4月〜昭和18年3月
昭和26年4月〜昭和39年3月
平成29年6月3日 逝去

上東 章先生 (理科)
昭和39年4月〜昭和53年3月
平成29年8月3日 逝去

訃報

お世話になりました 転出された先生がた 附小在任思い出メッセージ



田村真由子 先生
(保健)
平成21年4月
平成28年3月

死力を 尽くせる場所

分の子どものように愛情を注いだ子どもたち、尊敬する先生方、温かく支えて下さった保護者の皆様、親密な付き合いをさせて頂いた先生方、学校の先生方、研究でお世話になった先生方、数えきれない大切な縁がありました。私にとって皆身も大好きな大切な人々です。そのおかげもあり、今燃え尽き症候群にはなっていないです。今の自分の居場所が誠心誠意つとめることが、お世話になった方々への自分ができることだと思ひ、感謝の気持ちをもち、穏やかに日々前を向いて過ごしています。

難松会の皆様、母校を去った後も附属天王寺小学校を愛し、いつまでもつながりを大切に思っています。このようないい縁を大切にたかがえのない思い出が、つづまっているからではないでしょうか。そのような場所を過ごした仲間意識は、同級生でなくても、温かな確かな絆があることを難松会である校長の先生方からも感じておりました。附属には、地域の学校のような「地域の方々」とのつながりはありませんが、難松会の先輩方の温かい頼もしい存在がそれに勝るものだと感じています。

今日も、子どもたちは学校で「本気で」たくさんのごとに取り組んでおり、難松会はこれからも益々発展し、絆は変わらず続いていくことを思います。私も、出会えた皆様のご縁をいつでも大切に、これからも附属天王寺小学校にかかわっていきたく思っています。



金谷 幸恵 先生
(家庭)
平成19年4月
平成28年3月

感謝の気持ち

の残り3年生でしたが、附属天王寺小学校の立派な最高学年として巣立つんですね。これからの人生の中で、多くのすばらしい出会いがありますように。

「家庭科を研究してみないか」と声をかけていただいたのをきっかけに、附属天王寺小学校へ赴任した当時は、また20代でした。その頃は、10年近く在籍され、素晴らしい研究を重ねている先輩の先生方が多く、「自分からいこう」ということがとても難しく感じたことを、今でも覚えています。しかしそれ以上に、先輩の先生方がいつもあたたかく声をかけて下さり、「一からたくさんのお話を聞かせていただきます」と、それは、附小を離れた今でも、大切な財産です。そして、いつも元気いっぱい笑顔で私

を受け入れてくれた子どもたちに用まれ、また保護者の皆様には、いつも温かく見守って下さり、ご支援いただき、本当に感謝しています。在籍中には、家庭科室の改装に関わらせていただきました。目に優しいグリーンを基調とした調理台は幅幅が広がり、調理や製作がしやすいだけでなく、収納率も上がり、椅子は冷たくなり、木面から、座り心地のよい「クッション」面になりました。そして、清潔感のある白を基調とした食器棚は、子どもにとって安全で扱いやすく、自分たちで調理用具を準備する、という学習がさらに可能になりました。

最後になりましたが、難松会の益々のお発展と皆様の多幸を心よりお祈り申し上げます。あつがとびたいです。



那賀典仁 先生
(図画工作)
平成22年4月
平成28年3月

新たな自分発見の場

世話になり、あつがとびたいです。赴任してまもなく、自分が興味本位でこの学校に来たことを後悔しました。果たして自分のこの学校をやっていることができるのだろうか。今までの学校と違う附属天王寺小学校のやり方に、とにかくついていかなければならないと朝から晩まで必死になつて授業を考えました。教師としての指導力や技量をつけようと、見て覚えたり、真似してやってみたりしました。その頃は研究発表会で、提案することのプレッシャーや附属天王寺小学校の先生という見方をされると思ひ、ただただ自分の体感を整えようとしていて自分の持ち味や子どものことを考えない自分勝手な教師になつたような気がしました。しかし、たまたまの先輩の先生方の厳し、そしてあたたかい導きをいただきました。そして子どもたちのおかげで、ようやく自分を取り戻しました。図画工作科の授業をしながら、生き生きと材料を見つめ、周りの友だちと話し合

いながら自分のおもいを形や色に表しているとする姿を見て、授業は子どもたちのもの。子どもたちとともに授業を創りあげるものだと考え方ができるようになりました。今でも自分の中で、自分と子どもとの距離が、番近いと感じた昨年度の研究発表会のこと、思い浮かびます。

保護者の皆様、在職中は、協力、理解をいただき誠にありがとうございました。いつも暖かい目で参観していただき、幸せな瞬間だと感じました。先輩の先生、子どもたちもですが、保護者の皆様も育ててもらったことも、これから教師を続けていくための大きな財産になりました。

これからも御縁はずっと続いています。新たな自分に気付かせてくれた大切な6年間を感謝するとともに、附属天王寺小学校・難松会の益々の発展と皆様の多幸を、心からお祈りいたします。



浜田 美和 先生
(音楽)
平成24年4月
平成28年3月

学んだこと

た。本当にあつがとびたいです。

附属天王寺小学校の日々を思い出すと、脳裏に浮かぶのは、諸先輩方の「よりよい授業を創りたい」という姿勢です。私は、附属天王寺小学校に赴任するまで、授業に最も必要なのは、経験に裏打ちされた技術だと思っていました。確かに技術は必要です。しかし、それだけでは十分ではないことを、附属天王寺小学校で教えていただきました。諸先輩方は、日々、子どもたちの実態把握に努め、適切な教材を選び、授業時には、私自身も「この授業に参加したい」と思うような魅力的な課題提示をされていました。そして課題を解決した時の子どもたちの充実した表情、最も大切なこと、これは忘れられません。

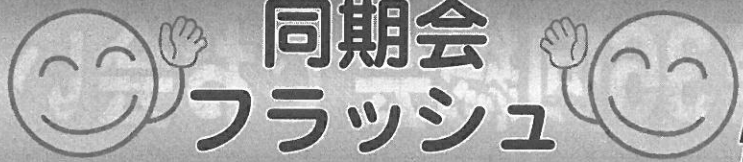
最後になりましたが、大阪教育大学附属天王寺小学校と難松会の益々の発展と多幸を心からお祈り申し上げます。

あつがとびたいです



大阪市立小林小学校へ転出
136期のみなさん、卒業おめでとうです。
みなさんの出会いは、まだまだ続きます。

ひさし
ふり



同期会 フラッシュ

こんにちは

まだまだ頑張っています

お知らせ

●同期会を開催される「期」には、
雑松会から一万円の同期会開催補助
費を支給させて頂きます。つきま
しては、会報への同期会開催記事と
集合写真の出稿と引き換えにのみま
すので、ご協力のほど宜しくお願い
いたします。

雑松会事務局まで雑松会ホーム
ページから又はFAXにてご連絡
下さい。(FAX06-6711-
6116)

6年1組クラス懇親会

平成28年10月20日、「銀平 道頓堀店」にて
昭和24年卒業6年1組のクラス会が、6名の参
加で行われました。
様々な事情で参加者数減少傾向が強く残念です。
入学時は男子2組、女子1組の各30名程度の
構成でしたが、戦争で学校生活6年間で二分さ
れ、戦争激化で学校閉鎖、生徒たちは集団疎開
と個人疎開ではらばらに、戦後は復学しない数
を補充入学で補い、卒業時は入学時同様の陣容
となりました。戦争中は冬場でもジャンボンのボ
ケットを縫い付けて手を入れなするなど、厳しい
寒。そして終戦！男女共学のクラス編成にな
り、常の勉強に加え様々な場所を社会見学する
新しい教育、学芸会、運動会、臨海学校と盛り
沢山の。師範学校から実習生の若い先生方も見
えて充実した学校生活を送って改めて感謝して
います。
これからも各々が社会への接点を大事にしな
がら生活を続けていってほしいです。

68期

昭和24年卒

石川一高



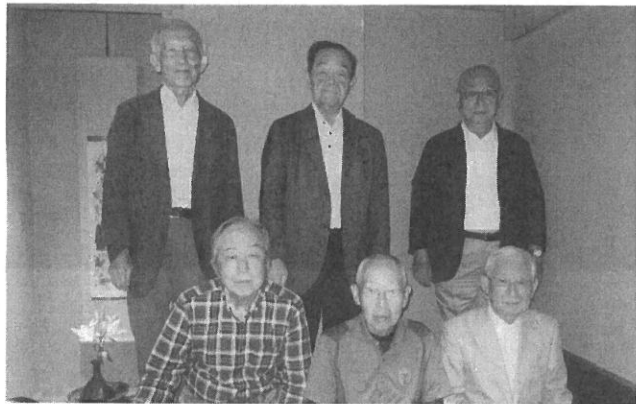
63期

昭和19年卒

萩葉一郎

ラスト(?)の同期会

我々昭和19年卒は卒業40、50、60周年及び古
希、喜寿、傘寿等3・4年毎に同期会を行って
きました。今や80半ばはなりましたので、ラ
ストの同期会を、6月7日(天王寺都ホテル
で開催しました。参加は男性7名女性10名計17
名、夢ヶ園東から、また娘さん等の送迎によ
り参加してくれた方々もありました。
何時もながらワイヤン奏者や老匠の唐君の
名司会により全員が「我が人生について」を
タイトルに、これまでの大きき人生を交えた出
来事、最も嬉しかったこと、悲しかったこと、
夫婦、子、趣味等を発表し、3時間は瞬く間に
過ぎました。
二次会として、ハルカスの16階ガーデンと19
階ロビーに上がり屋敷を楽しみました。特に現
在の附小と我々が通学した所(現在の附中と附
高)を眺めることが出来、感慨ひとしおでした。
これでラストの会とせず、また機会を作り逢
いましょうと散会しました。



辻本先生交え^{50年前}タイムスリップ

82期生の同窓会を平成28年10月23日にホテル
ニューオータニ大阪の3階「叙々苑」で催しま
した。82期生は総数89名ですが、30名が集ま
り、辻本先生がご出席くださいました。附小
卒業後50年経って、同窓会に自分の1以上が
集まるというのは相応な出席率だと思います。
しかも30名というのほちよっとクラス分の数
です。半世紀以上タイムスリップして、可愛ら
しかった、けなげだった、やんちゃだった小学
生に戻って、じつに楽しい、有意義な同窓会
のひとつときを、辻本先生といっしょに過ごすこ
とができました。



82期

昭和28年卒

谷本慎介



三村先生も参加 祝60歳祝80歳

87期

昭和43年卒

笹井秀彦
中出安子

第87期同期会を平成28年2月21日(天王殿)
にて開催しました。東京やアメリカからも参集
したかつての生徒達は還暦を迎え、恩師三村幸
男先生は傘寿、日曜日の昼下がり、窓に連天閣
の見えるお座敷に椅子席で、ゆったりとおしゃ
べりしました。
そのうちに卒業時に交換したサイン帳が登場
して盛り上がり、卒業シーズンのセンチメンタ
ル気分を思い出しつつ懐かしく回顧しました。
それぞれの文字や絵の個性を讀みながら、児童
の国語力について最近「など」と話題の発展も
あり。思い出話以外にも健康法の話、各仕事の
業界の話、介護サービスの話、なんでも思い思
いに語らざる同窓会のひと時に感謝いたしまし
た。
この写真を撮るのに祝60歳、80歳等のカード
を持ちましたが、三村先生は真っ先に60歳のカ
ードを選択され、最後まで笑いの尽きない集い
でした。



第36回総会でお会いしましょう。

新 知 と 温 故 恩 師 同 席

恩師の先生方に、今回の難松会第36回総会・懇親会のご案内を差し上げたところ、返信はがきに近況報告のコメントを寄せて頂きましたので、ご紹介いたします。

原 晃一郎先生

(昭和29年11月～昭和46年3月・園画工作)

90歳。変形性ひざ関節症で、血圧・尿酸値・コレステロールが高く、車椅子生活です。家内は脳内出血から認知症になり、目がみえず老人ホームに入っています。毎日生きていくのが大変です。皆様、健康にはくれぐれも留意下さい。ご盛会を祈っております。

辻本 茂先生

(昭和30年6月～昭和48年3月・理科)

年齢を重ねると共に、体力も落ちて参りましたが、何とかがんばっております。久々に皆々様にお会いできましてを喜びたいです。

会長はじめ皆様方に御礼申し上げます。

灰山徳子先生

(昭和33年9月～昭和39年3月・家庭)

創設140周年おめでとうございます。お陰をもちまして毎日の通院もなほ過へさせていたしております。会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

前田三男先生

(昭和36年10月～昭和41年3月・社会・道徳)

毎朝、7時半に摂生公園でラジオ体操・太極拳を1時間余り行っています。近隣の男女40～50人が集まり楽しい時間を過ごしています。昨年末ホランテリア活動を減らし、近くの老人施設でラジオ体操をしています。

三村幸男先生

(昭和41年4月～昭和49年4月・理科)

いじめに連絡頂きまして有難うございます。「難松」も嬉しく読んで載っています。小生、何分80歳を超え、体力的に行動もなほ、既生症のハンパもあり、近々での総会にも拘わらず出席できません。87期生の卒業生の担任をしていた皆様、その後の担任学級の皆様も立派に活躍されているのを喜んでいきます。

八代田三枝先生

(昭和39年4月～平成52年3月・家庭)

開設140周年おめでとうございます。難松会の益々の発展をお祈り上げます。

田中建司先生

(昭和41年4月～昭和64年3月・園画工作)

毎日、気合いを入れ直して生活の充実に向けようとしていますが、行動が伴いません。喜春を通過しても、附小へ月一回、美術教育のセミナーで伺っています。

教職員の皆様はとも親切に対応して下さい、外からの先生方が敬服されています。教育課題山積の中、教職のみならず、がんばってほしいです。

奥野忠昭先生

(昭和45年4月～昭和56年3月・国語)

元気で何やかやとやっております。

川村一郎先生

(昭和45年4月～昭和57年3月・体育)

「鶏犬相聞こゆ 田舎ではしが、のんびり日々を送っています。

趣味の魚つりも今は足も目も不安定でいけません。アハハも減らなりました。

成瀬 修先生

(昭和45年4月～昭和47年3月・音楽)

私も70歳になり今春全ての仕事が終わります。懐かしい教え子の皆様にお会いしたかったです。懐かしいの為出席出来ません。申し訳ありません。

山下良一先生

(昭和46年4月～昭和55年3月・算数)

76歳になりました。週一回外国人の手で日本語の勉強をしています。元気で。

成瀬澄子先生

(昭和47年4月～昭和49年3月・音楽)

難松会の益々の発展をお祈り申し上げます。

大橋光雄先生

(昭和48年4月～平成7年10月・社会)

昨年の秋、附小で最初に教えた子供の食事を参加しました。2年から6年まで年間担任しました。なんて忙しい学校だと思いましたが、本当にいろいろな面で小の教師として教えることができました。卒業式で涙が溢れ、子ども達の名前を言えなくなりましたと言われ、40年過ぎても教え子が覚えていてくれてうれしかったです。

月本康二先生

(昭和49年4月～昭和60年3月・道徳)

闘病中です。

増田信先生

(昭和49年4月～昭和52年3月・音楽)

「丁寧に連絡頂き誠にありがとうございます。ご盛会をお祈り致します。

矢谷健一先生

(昭和50年4月～平成5年3月・算数)

「日々新たに意識しながら毎日元気に過ごしています。つい先日、大阪教育大学の非常勤講師として算数科教授法を担当していました。また、若い先生方の算数の授業へのアドバイスをさせてもらったりしています。ラジオ体操を毎日忘れないようにして健康な日々を送っていきたくと思っています。

東元イヅ子先生

(昭和50年4月～昭和55年3月・保健体育)

140周年おめでとうございます。ボツボツ、ユックリと元気です。みな様によろしくお伝えさせていただきます。

高原博正先生

(昭和55年4月～平成9年3月・体育)

ご盛会をお祈りします。

大西秀彦先生

(昭和55年4月～昭和58年3月・理科)

先約があり総会・懇親会に欠席いたします。御案内ありがとうございます。後期高齢者(75歳)の仲間に入りました。盛会をお祈り申し上げます。

坂元健一先生

(昭和55年4月～昭和60年3月・算数)

ご盛会をお祈りいたします。

前田 昇先生

(昭和57年4月～昭和63年3月・社会・校長)

残念ですが欠席させていただきます。

西川秀智先生

(昭和59年4月～平成6年3月・社会・生活)

現在、大阪成蹊大学教育学部で、社会科・生活科を小学校の先生の手である学生に教えています。難松会の益々の発展をお祈り申し上げます。

服部敬一先生

(昭和60年4月～平成20年3月・道徳)

附属天王寺小学校を離れて9年が経ちましたが、今でも懐かしく、また、私自身がすべきもの多い学校であると思っています。今は、大阪市立豊小学校を校長としていますが、附小時代の考え方に則し、学校運営を行っています。

稲葉正治先生

(昭和62年4月～平成6年3月・園画工作)

ご盛会をお祈りします。

高砂和滋先生

(昭和63年4月～平成9年10月・国語)

再任用で、大阪市立玉川小学校を勤めています。

川西邦彦先生(旧姓 谷岡)

(平成6年4月～平成14年3月・算数)

大阪市教育センターで指導員をさせていただいてます。

多田和彦先生

(平成10年4月～平成24年3月・体育科)

ご連絡ありがとうございます。

木戸安之先生

(平成10年4月～平成17年3月・保健)

難松会をますますの発展をお祈り申し上げます。いつも本会の皆様にご感謝しております。附属天王寺小学校における教育活動が今の私の原動力です。

大野節子先生

(平成11年4月～平成19年3月・家庭)

大阪市立磯路小学校で勤務しています。

西川理嘉先生

(平成12年4月～平成22年3月・音楽)

お話を聞かれます。楽しみにしております。

岩崎真季先生

(平成13年10月～平成18年3月・理科)

現在、大阪市内の小学校で教頭をしています。成長し

た皆さんに会えるのを楽しみにしています。

萩原武士先生

(平成12年4月～平成16年3月・物理学・校長)
創立140周年、誠に慶びに堪えません。

附小が天下の名門であり続けられますよ、難松会との連携を密にし、益々の御活躍、御発展をお祈りいたします。合掌。

藤永芳純先生

(平成16年4月～平成20年3月・道徳教育・校長)
ご連絡ありがとうございます。残念ですが、先約がありますので出席できません。盛会を祈念します。大教大退職後、故郷の寺院の住職をしております。小学

校・中学校の授業指導にあちこちと出張しております。

梶井大輔先生

(平成17年4月～平成27年3月・体育)
人との出会いに感謝しながら、日々充実した毎日を通しております。

難松会の益々の発展をお祈り申し上げます。

太田志織先生

(平成17年4月～平成21年3月・保健)
欠席させていただきます。
ご案内ありがとうございます。

三浦聡子先生

(平成22年4月～平成27年3月・音楽)
ご案内をいただきありがとうございます。

ご盛会をお祈りしております。

水野恵司先生

(平成23年9月～平成28年3月・地理教育・校長)
在任中は大変お世話になりました。当日、残念ながら他用あり出席できません。盛会をお祈りいたします。大学で地理教育・安全教育及び研究に引き続き取り組んでいます。小学校での貴重な経験を生かしていきたいと思

います。

100期(昭和56年卒)
熊谷 有紀(旧姓柴田)

川村 一郎先生(瑞玉双光章)受章おめでとうございます。

私は附小4年間(小3、小6)川村先生に指導を受けて頂き、沢山の事を学び成長してまいりました。本日にありがとうございます。

102期(昭和58年卒)

首藤 久美(旧姓中世)

附属天王寺のメンバーが集まり、日々、お茶とお餅に励んでおります。

「松」に因んで「難松会」といいます。

お茶会、生徒への体験ボランティアなど致しまして、ご興味のある方は難松会幹事、首藤まで一報ください。

97期(昭和53年卒)
永井 隆雄

今年1月から大阪大学に赴任し、7年ぶりに大阪に戻ってきました。

97期(昭和53年卒)
赤尾 滋樹

第141期生の入学式に行ってきました。懐かしい思い出が蘇る、感動的な式でした。

132期(平25年卒)
金 悠支

今年も100期に会えるのを楽しみにしています。

級・友・か・ら・の

近況報告

エ・ト・セ・ト・ラ

昨年寄せられた近況報告の中から掲載しています。年に1度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

59期(昭和15年卒)
小畑 哲雄

昭和9年に入学したのは、男女各25人のクラスでした。今年、その中の女子3人から年賀状をいただきました。長年ほしたものです。

65期(昭和21年卒)
小川 やす子(旧姓万年)

毎年懐かしし天師附属の会報を頂き、有り難うございました。終戦の明るく、色んな苦労を後の人生にとても役に立ちました。

71期(昭和27年卒)
後藤 忠彦

難松第47号を念入りに拝見させていただきました。内容豊かであることに驚きました。近況報告欄は、昭和10年卒の方から平成23年卒の方に及ぶ広い層からの投稿できあがっている事に感激しました。臨海学舎の思い出が掲載されています。私達は、二色の浜で、旧日本軍の兵舎を活用し、全員ハンモックで就寝しました。

71期(昭和27年卒)
奥村 桂子(旧姓 本田)

終戦直後(昭和21年)入学した附小は校役、混雑としていた世の中にもか

82期(昭和38年卒)
和食 正久

長野県の篠ノ井病院副院長をしていましたが、平成28年3月で定年退職となり、年金もいたたいていになりました。65歳です。

102期(昭和58年卒)
首藤 久美(旧姓中世)

附属天王寺のメンバーが集まり、日々、お茶とお餅に励んでおります。

108期(平成元年卒)
髭野 淳平

初めての子供の寝顔に癒される毎日です。

132期(平25年卒)
金 悠支

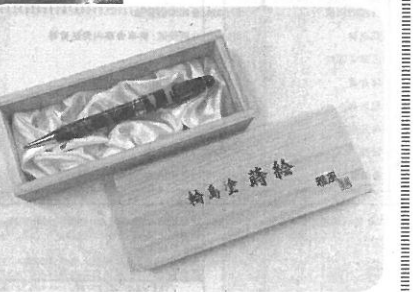
今年も100期に会えるのを楽しみにしています。

がんばってます！ 級友
同窓生の活躍

伊勢志摩サミット2016に



80期(昭和36年卒)
西川雅夫さん
輪島塗ボールペン
「雅風」が採用



昨年5月に三重県で開催された「伊勢志摩サミット2016・G7首脳会議」で、難松会会長の西川雅夫さんが会長を務められている文具メーカー株式会社セキセイが販売されている輪島塗ボールペン「雅風」が採用されました。

会議では、オバマ前アメリカ大統領をはじめ7ヶ国の首脳の筆記具として使用され、会議後各首脳は、それぞれお持ち帰りになられたとのことでした。

輪島塗は600年の伝統を持つ堅牢な漆工芸品であり、長い歴史と伝統に培われた日本を代表するものであります。輪島塗と名乗る条件として、木製に漆を塗ることが前提となっていて、輪島塗ボールペン「雅風」はまさに木製に漆を塗り蒔絵を施した伝統工芸品であると評価を得ているそうです。

西川さんは現在、一般財団法人大阪デザインセンターの理事でもあり、絵画をはじめデザイン開発に力を注いでおられます。東山雅風を雅号として「雅風」と名乗り、このボールペンにも「雅風」が刻印されています。

「伊勢志摩サミットの首脳陣7人により、新たな世界の進歩と調和を目指し話し合いが行われたわけですが、人間本来の幸せを求める各国の考えはそれぞれ違えども、7ヶ国の首脳に同じ輪島塗ボールペン「雅風」を胸に挿していただけたことで、共通の想いを示すシンボルとなれば望外の喜びです。」と西川さんは語られました。

平成28年度

年会費納入者氏名

(平成29年2月10日現在・敬称略)

- 特別賛助会員**
山本 富郎・辻本 節子・柳川 敏彦・岸本 光正・芝原 慎次・安田 美津子・前田 孝夫・西川 雅夫・吉村 計三・木下 吉吾・菊田 吉統・赤尾 滋樹・西村 泰彦・天野 伸一・江藤 智廣・竹野 元二・武村 美久・奥村 裕加
- 賛助会員**
大西 英子・福田 美智子・柴谷 一穂・保田 春彦・中川 操・浦谷 佳邦・奥村 桂子・西原 真佐子・秋田 光哉・高橋 悦子・竹野 悠佳・竹林 由香・下伊豆 友音・藤川 力彬
- 昭和11年卒**
左藤 康・大西 英子
- 昭和12年卒**
大道 善久代・山本 輝郎
- 昭和13年卒**
吉田 泰夫・秋山 康子・牧田 葉子・福田 美智子
- 昭和14年卒**
前田 真・井上 祐子・菊池 富美子・坂部 蓉子・佐藤 美とろ
- 昭和15年卒**
小畑 哲雄・加藤 光二・若山 久子・吉野 恒子・鈴木 洋子・堀 春子・沖 美美子
- 昭和16年卒**
勝又 朝昭・庭山 昭・保呂 和彦・田中 紗智子・山崎 典子・永田 俊子・田辺 悠紀子
- 昭和17年卒**
上田 誠也・中西 妙子・西崎 瑞枝・綿奈部 嘉代・保田 春彦・柴谷 一穂
- 昭和18年卒**
久貴 忠彦・田村 新十郎・長野 秀保・永田 夏雄・川内 美江子・堀野 妙子・中川 和子・長尾 裕子・近藤 光
- 昭和19年卒**
伊加利 勝徳・萩原 一郎・尾形 文二・齋藤 尚・唐二 二郎・森口 五郎・塩田 節子・藤田 美智子・横山 清恵子・中川 操
- 昭和20年卒**
本郷 二郎・三宅 克彦・奥原 福夫
- 昭和21年卒**
久野 晴二郎・寛 礼子・西村 友子・小川 やす子・渡邊 昌子
- 昭和22年卒**
濱本 敏孝・瓜原 一敷・三宅 正彦・石原 さよ子・浦谷 佳邦
- 昭和23年卒**
五影 雄三・佐野川谷 保昌・山添 尚子・小高山 美美子・藤田 光子・堀 幸子・関 淳一・荒井 三依・澤川 啓・青木 慶子
- 昭和24年卒**
石川 一高・松並 孝雄・志田原 真弓・細原 孝子・白川 知子・辻本 康子
- 昭和25年卒**
高岡 伸一・竹田 健三・三野 四郎・上野 恭子・河井 順一・松井 精朗・衣笠 桂子・中林 昌子
- 昭和26年卒**
坂戸 義雄・橋本 富子・栗谷 恭三・乾 登美子・大浦 真哉
- 昭和27年卒**
奥村 桂子・飯田 孝行・後藤 忠彦・斎田 マリ・馬場 宏一・曾川 敏彦
- 昭和28年卒**
岡島 義之・川端 孝芳・西田 允徳・山田 正夫・新井 和恵・榎松 睦子・櫻田 博光・田中 弘一・名村 建彦・南 肇・吉田 耕・梅村 康郎
- 昭和29年卒**
辰野 裕彦・則末 栄巳・吉田 裕治・田中 通子・奥尾 三紗子
- 昭和30年卒**
井上 薫・石本 敏・上野 保彦・橋本 光隆・岡田 範子・岸本 光正
- 昭和31年卒**
北畑 英樹・藤本 圭一・北野 公造・銭高 一善・伴野 隆一郎・中橋 正和・大和 一夫・山根 勇・宝田 昭平・武田 勝年・石川 智子・芝原 慎次
- 昭和32年卒**
北沢 一記・小山 彪・山田 重信・新田 長彦・若井 肥子・安田 美津子
- 昭和33年卒**
矢野 文康・糸原 和子・戸川 隆子・本多 怜子・堀 周二
- 昭和34年卒**
大塚 正・小西 克彦・酒井 秀夫・佐々木 義之・矢沢 和子・並川 俊一郎・山内 良介・山中 邦子・河野 通子・前西 孝夫
- 昭和35年卒**
宮脇 隆次郎(悦郎)・喜村 安見・中尾 哲・松嶋 美恵子・住野 公一
- 昭和36年卒**
石川 博・河合 精隆・三上 修司・有岡 雅行・栗林 守夫・米津 精文・岡本 明朗・由田 誠克・高野 優子・西川 雅夫
- 昭和37年卒**
藤井 剛・石原 義久・安東 佐紀子・加来 裕生・岸本 隆宣・佐藤 寛・高野 雅明・吉川 建夫・堤井 省三・北條 順子・浜口 隆子・山田 妙江・江原 一雅・中野 佳則・三上 裕司・浅田 愛
- 昭和38年卒**
花岡 俊昭・石谷 隆子・大西 良和・角谷 貴朗・平田 慶嗣・高野 徹・中山 真理子・和倉 正久・神波 美由香・西原 真佐子
- 昭和39年卒**
江田 博一・深川 信・角田 美枝子・佐伯 英隆・辰野 守彦・由田 勝紀・吉川 善兼・松嶋 由美子・川島 聡子
- 昭和40年卒**
石田 北沢 雅則・白江 淳郎・村田 秀穂・安宅 千治・阪口 新太郎
- 昭和41年卒**
松尾 厚・林 哲也・吉村 盛彦・塚原 保子・三上 淑子
- 昭和42年卒**
永原 寛夫・前田 信彦・吉村 計三
- 昭和43年卒**
坂中 良郎・平井 健三郎・山口 英行・菅尾 光子・田中 安子・佐井 秀彦
- 昭和44年卒**
塚田 充・山崎 剛
- 昭和45年卒**
中山 博文・中山 博文・奥田 ゆかり・近藤 馨子・浅野 隆司・若田 以雄子
- 昭和46年卒**
浅野知一郎・坂井田 紀子・坂本 雅生・市川 澄子・浦川 信司・中出 雅治
- 昭和47年卒**
石原 貞徳・渡邊 綾子・浜田 優子・鈴木 晴子・牛造 貞徳・保田 健二・知子・畑 俊行・小橋 肇子
- 昭和48年卒**
浅野英一郎・田津原 将智・宮内 晃・浦川 正人・尾崎 晋一・秋田 光哉
- 昭和49年卒**
秋原 博美・佐井 教夫・大西 規世子・西垣外 晃徳・鈴木 宏育・浜田 廣・木下 吉信
- 昭和50年卒**
川根 康史・安達 幸山・山田 久代・木岡 哲郎・金剛 英二・竹村 直久・伊藤 裕子・平田 健・芳武 勇・岡田 恭仁子・正木 恭子・橋本 洋子・宮崎 悦子
- 昭和51年卒**
田中 元人・中島 敏・浜田 康・春日井 孝明・川名 あかね・平田 育子・内田洋子・菊田 吉哉
- 昭和52年卒**
松村 豊・中嶋 幸子・藤井 英彦・井上 剛・太田 彦彦・多屋 貞一・服部 浩治・村上 正昭

◎平成28年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。
◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思ひます。お気付きの方は雑松会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX06-6771-6116)
◎平成29年度の会費は別記の様になっております。重ねてご協力をお願いします。

- 平成16年卒**
市村 彰彦・岩崎 孝規・久保 宏樹・村上 喜彦・渡邊 真隆・柴田 祐子・白江 倫子・尾松 由加・芥子 和史・松本 祐輝・長谷川 睦夫
- 平成17年卒**
堀 裕典・藤 野郎・秦 将世・木村 安梨・靴谷 美里・柴田 知佐・平野 全記・大谷 真貴・芝野 加奈子・中村 仁美・原谷 敏・新橋 郁郎
- 平成18年卒**
中川 雅夫・平田 充代・芳武 玖・羽藤 沙恵・細田 仁彦子・石村 悠二・中川 祐典・若井 善那・韓 美紀
- 平成19年卒**
木岡 亮平・住吉 裕太・寺田 有一郎・森田 剛史・金高 藤・中川 紗矢香・北川 裕也・福田 裕一郎・藤 優樹・伊堂寺 美樹・岩崎 大智・石川 小百合・柿沼 利香
- 平成20年卒**
川邊 直幸・小杉 悠貴・福地倅己・岸田 怜子・酒井 加奈・坂本 真優・三島 奈都美・大野 麻生・三田 建夫・南野 昭亮・喜多尾 衣利・佐藤 秀美・佐原 秀美・西村 伊代・山口 麗奈・梅田 佑生・土井 拓也・西岡 拓成・橋本 隆夫・日野 太貴・松本 恭輝・安田 和徳・柴田 知規・西川 美那・松井 瞳
- 平成21年卒**
大西 真理彰・加藤 江裕菜・佐藤 瑞穂・三井 紗智子・宮崎 西・中井 賢太郎・藤田 あおひ・高辻 杉仁・丸橋 正直・天津 康紀恵・渡藤 優
- 平成22年卒**
志田 大輔・西村 夏彦・村岡 裕太・村田 裕太郎・小田 望輝・木岡 真・久保 幸樹・西岡 優衣・杉岡 純平・安田 賢次・石川 万奈恵・岩崎 哲夫・田中 智恵・村田 陸
- 平成23年卒**
井上 才富・大西 八雲・加藤 智己・熊谷 幹喜・駒見 雅也・高松 拓翔・中尾 康太・成瀬 亮太・北川 友隆・橋本 智子・渡邊 佑磨・加藤 由梨愛・北川 千穂・森村 結菜・火岡 優希・吉村 まい・伊堂寺 慧・三方 祐路・真松 里紗・三島 佳奈子・村田 結海・大崎 俊枝・戸崎 悠也・後藤 七少爺・七里 愛・船矢 有生・山本 悠佑・横田 佳歌里
- 平成24年卒**
橋崎 亮太・田崎 毅夫・高永 寛之・平田 駿一郎・福地俊也・下山美寿々・白井 明雄・小田 健輔・清水 若菜・興 明加・八十 まゆき・麻大 輔・天津 泰朗・岩田 湧心・大田 潤之介・神田 英介・杉崎 春斗・田中 智達・西川 慎典・後藤 優佳・西井 美莉
- 平成25年卒**
井上 裕貴・篠塚 祐希・角 龍幸・田中 諒太・馬場 仁彦・坂井 優美・下中 晴久・清家 愛美・中川 美咲・橋本 香織・村山 春奈・矢野 かりん・山本 有紗・岡田 幸隆・杉岡 慎治・竹崎 昭隆・馬場 亮樹・松川 巧・松田 穂之介・伊藤 奈々子・香山 美穂・工藤 夏木・小林 真子・村上 重野・桑島 山田 莉子・山本 優芽・上村 佑真・光 悠志・砂野 陽那・寺岡 七奈子・野間 光葉・奈良菜加・山本 紗也・奥村 裕加・下伊豆 友音
- 平成26年卒**
石田 拓也・上田 祐輔・小林 元・齋藤 岳・阪本 優弥・小川 恵夫・深美 葵・奥 萌々花・梶原 萌・清水 玲花・福屋 有唯・大村 文哉・奥野 修平・小門 巧・小嶋 肇矢・岡田 賢賢・藤原 佳子・佐々木 郁乃・酒元 ひとみ・望月 杏純・上田 直輝・中井 厚博・増井 裕也・浦井 敏乃・岡田 愛加・小杉 真理恵・下山 美咲・中江 雪乃
- 平成27年卒**
鈴木 寿学・高橋 仁聡・谷本 朋弥・辻野 友萌・中谷 高馬・殿野 哲人・吉田 英爾・有泉 美穂・橋本 絵莉・染野 日菜海・末包 南唯・アライ アユミ・山本 美鳳・今井 佑・桂 大悟・坂原 啓太・橋本 大輝・松村 延一郎・林 直人・元田 康夫・福田 和子子・河野 美穂・杉岡 千聡・田中 彩繪・平田 美蘭乃・廣田 咲咲・光岡 真直・南 芽依花・山本 美貴・川口 徹太・佐々木 麗・赤松 中聖・中聖 利・伴 順次・藤原 穂・別所 尚希・依岡 功輔・津山 愛美・土肥 久恵・橋本 美咲・長谷川 剛・船谷 桃子・藤川 力彬
- 平成28年卒**
全員

雑松会会計平成27年度収支計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日
会計幹事 赤尾 滋樹

年会費、賛助会費	1,968,000	郵便払込	661口	平成27年度会費	1,864,000円
		直接納入	38口		104,000円
平成27年3月卒業生 新会員入会金、年会費 預金利息	595,000 1,540	入金金 定期預金利息 普通預金利息 (口座番号 2059871) (口座番号 1135673)	3,000円 × 119名 = 2,000円 × 119名 =	357,000円 238,000円	1,323円
小計	2,564,540				217円
前年度からの繰越金	8,989,576	定期預金(口座番号 2058871) 1年定期 普通預金(口座番号 1135673) 郵便口座 仮払金(総会費受取人払金 仮払)		6,641,603円 2,912,973円 0円 30,000円	-357,000円
合計	11,554,116			238,000円	
総会費	339,870	総会費用		339,870円	
会報印刷費	671,328	会報印刷費		671,328円	
郵送費	885,647	会報発送、幹事案内発送費等		885,647円	
名簿管理料	118,800	湘楽済堂		118,800円	
贈金費	219,752	ジュニア会補助、幹事会他		219,752円	
記念品	200,000	卒業生記念品		200,000円	
事務用品	720	ファイル代		720円	
雑費	648	振込手数料		648円	
その他	20,270	同年会補助、会報原稿郵料		20,270円	
合計	2,457,035				
次年度への繰越金	9,097,081	定期預金(口座番号 0018622) 1年定期 普通預金(口座番号 1135673) 郵便口座 前年度(28年3月卒業生入会金@3000×119名) 前年度(28年3月卒業生年会費@2000×119名)		6,642,926円 3,049,155円 0円 -357,000円	-238,000円
合計	9,097,081円				

お詫び 年会費納入者記載漏れ

昨年の会報8頁の「平成27年度年会費納入者氏名」において、下記の方々の名前が記載漏れとなっていました。大変失礼しましたことを深くお詫び申し上げます。

- 平成27年度記載漏れ
- 昭和35年卒 松嶋 美恵子
 - 昭和36年卒 里村 裕・荻野 誠一
 - 昭和42年卒 中野 充弘・十河 久美子
 - 昭和42年卒 馬場 正子・小川 美名子
 - 昭和45年卒 奥村 玲子・伊藤 早百合
 - 昭和47年卒 佐伯 佳世子
 - 昭和50年卒 瀬戸 知代
 - 昭和51年卒 武田 善博・水岡 寛
 - 石塚 幸
 - 昭和52年卒 谷口 被英・福島 有佳
 - 昭和54年卒 小林 美佐
 - 昭和55年卒 天野 伸一
 - 昭和59年卒 高木 啓輔
 - 昭和60年卒 北城 大輔
 - 昭和61年卒 柳咲 直則・岩崎 優希
 - 平成3年卒 竹野 剛史
 - 平成4年卒 生野 藍
 - 平成14年卒 佐藤 敏夫・奥村 哲也
 - 平成15年卒 前野 愛子・奥村 桃子
 - 平成18年卒 芳武 玖
 - 平成19年卒 奥村 晃
 - 平成25年卒 谷口 遼真
 - 平成26年卒 小林 元

平成29年度年会費について

- 同封の払込用紙をご利用下さい。
 - 30才以上の正会員の方は3,000円です。
 - 30才未満の正会員の方は2,000円です。
 - ご協力をお願いいただけます方は、賛助会費・特別賛助会費を設けております。よろしくお願ひいたします。
 - 賛助会費は5,000円、特別賛助会費は10,000円です。
 - 平成28年度卒(平成29年3月卒)の方は全員年会費を別途いただきますので、払い込みは不要です。
 - 同封の年会費払込用紙には、会員番号が印字されていますので、ご確認下さい。(氏名右下バーコード横の7桁の数字)
- (例、昭和50年卒6年3組40番の方)
明治-1卒業年 クラス 出席番号
大正-2
昭和-3
平成-4
350-03-40
- 通信欄に近況報告等をお書き下さい。会報次号でご紹介します。
- 郵便振替 大阪 00960-2-27966 雑松会宛

監査 藤田 実(印)